

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第210回定期演奏会

The 210th Regular Concert

子どもたちへのメッセージ

The Message for Children



演出：穂積大志
構成：守啓伊子
舞台監督：中島隆

2013年11月30日[土]
午後6時開演
第一生命ホール

主催／特定非営利活動法人日本音楽集団
NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール

助成／ 平成25年度文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

後援／ 公益財団法人日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

■ 日本音楽集団：http://www.promusica.or.jp/ E-mail：office@promusica.or.jp

■ トリトン・アーツ・ネットワーク：http://www.triton-arts.net

1、ごんぎつね (新美南吉原作・佐藤万里作詞・川崎絵都夫作曲／1998年、2011年改訂)

[語り] 飛山真利子

[台詞] 山崎愛乃 富岡健太 原田あかり (以上、NHK東京児童合唱団)

[合唱] NHK東京児童合唱団

[笛] あかる潤 [尺八] 田野村聡 [三味線] 簗田弘大 [琵琶] 久保田晶子

[二十絃] 熊沢栄利子 [十七絃] 久本桂子 [打楽器] 島村聖香

序曲はこれから出てくる邦楽器の自己紹介から始まり、ごんの散歩、月夜、テーマソングが次々とメドレーで現れます。そして、ごんの事を歌う歌が全部で3回出てきますが、その歌をはさんで、「ごんのいたずら」「兵十のテーマ」「ひとりぼっちのテーマ」「葬列」などが続き、語りと一体となって物語を楽しく、哀しく盛り上げていきます。

(川崎絵都夫) (150回定期演奏会 初演プログラムより)

1998年、日本音楽集団第150回定期演奏会<ごんぎつね～青少年のための>にて初演されました。

2011年度の文化庁「子どものための優れた舞台芸術体験事業」ワークショップ作品として採用され、教科書掲載の内容に合わせて、同年に一部改訂を行っています。

2、日本の音たちー伝統楽器紹介のための

《子供のための組曲(長澤勝俊／1964年)より》

[尺八I] 元永拓 [尺八II] 竹井誠 [尺八III] 原郷隆

[三味線] 簗田弘大 [琵琶] 藤高理恵子

[箏I] 田村法子 伊藤麻衣子 [箏II] 三宅礼子 佐藤里美

[十七絃] 城ヶ崎美保 岡山亮子

[打楽器] 尾崎太一 仙堂新太郎

1964年、東京オリンピックの年に日本音楽集団が生まれましたが、その第一回目の定期演奏会のために作曲された音楽です。日本の楽器たちが次々に登場し、ある時は歌うように、あるときは踊るように、演奏します。日本の楽器の特徴ある音色を、その簡単な紹介と一緒に味わってください。

3、ひかりのうたげー童声合唱と邦楽器のための (信長貴富／2005年)

[指揮] 苦米地英一

[合唱] NHK東京児童合唱団

[笛] 遠藤悠紀 [尺八I] 阪口夕山 [尺八II] 渡辺淳

[三味線I] 杵家七三 [三味線II] 守啓伊子 [琵琶] 久保田晶子

[二十絃I] 桜井智永 [二十絃II] 田村法子 [二十絃III] 三宅礼子

[十七絃] 丸岡映美 [打楽器] 盧慶順 島村聖香

『ひかりのうたげ』の「ひかり」は蛍を指している。闇に幾粒かの光が産み落とされるところからこの曲は始まる。

日本は古くから、蛍に死者の霊が宿っているという考え方がある。『日本の遊び歌』(川崎洋著／新潮社)の中に、第二次世界大戦中の鹿児島県知覧特攻基地での逸話が紹介されている。二十歳前後の特攻隊員が、自分は蛍になって還ってくるから迎えてください、と言って海に散っていったそうだ。今では「ほーたる来い」と蛍を迎え入れる声は日常から消えてしまったが、蛍になって還ってきた特攻隊員たちのことも、いずれ人々の記憶から消えてしまうのだろうか。蛍の棲む美しい水辺も、戦争の哀しい記憶も消え、やがて歌も滅び行くのではないか……そのような虞(おそれ)を今、抱かずにいられない。

戦後60年。戦争で亡くなった沢山の人々の魂も、今を生きている私たちも、再び歌のもとに集えないだろうか、そんな願いから『ひかりのうたげ』を作曲した。素材として広島と長崎のわらべうたを引用している。童声でそれらが歌われるとき、死者も生者も渾然一体となった祭りの陶酔に似た幻想に誘われるだろう。

(信長貴富) (181回定期演奏会 初演プログラムより)

4. 八声のコンチェルティーノ (福嶋頼秀／委嘱初演)

1. 前口上 2. 笛の章 ～又三郎～ 3. 琵琶の章 ～天姫～
4. 箏の章 ～小町～ 5. 三味線の章 ～ハットリ～ 6. 箏の章 ～一休～
7. 太鼓の章 ～光秀～ 8. 十七絃の章 ～オロチ～ 9. 尺八の章 ～将門～

[指揮] 稲田康

[笛] 竹井誠 [箏] 西原祐二 [尺八I] 元永拓 田野村聡 [尺八II] 原郷隆

[三味線] 穂積大志 [琵琶] 藤高理恵子

[箏I] 桜井智永 佐藤里美 [箏II] 三宅礼子 伊藤麻衣子 [十七絃] 久本桂子 岡山亮子

[打楽器] 仙堂新太郎

「コンチェルティーノ」とは「小協奏曲」の意味。この曲では『前口上』に続く8つの曲の中で、笛・尺八・箏・三味線・琵琶・箏・十七絃・打楽器の8つの楽器が一つずつ活躍します。

各曲には『笛の章～又三郎～』のように、小説の主人公や歴史上の人物の名前が副題についています。「又三郎」はもちろん宮沢賢治の小説『風の又三郎』の主人公。ここでは風のイメージと笛のフレーズを重ね合わせています。さて、他の楽器はどのようなキャラクターを表現するのか?…ぜひ想像しながら、お聴き下さい。ソロ奏者の音楽的キャラクターとの相乗効果も聴きどころです。

5. ヤマトタケル組曲 (長澤勝俊／1986年)

1. 序曲 2. 大碓命 3. 熊襲の国 4. ヤマトタケル 5. 尾張国造
6. 志貴の里 7. タケルの死 8. 終曲

[指揮] 田村拓男

[笛] 新保有生 [箏] 西原祐二 [尺八I] 阪口夕山 渡辺淳 [尺八II] 原郷隆 田野村聡

[三味線] 山崎千鶴子 [琵琶] 久保田晶子 藤高理恵子

[二十絃I] 熊沢栄利子 丸岡映美 [二十絃II] 田村法子 佐藤里美

[十七絃] 宮越圭子 城ヶ崎美保 [打楽器] 尾崎太一 盧慶順

「ヤマトタケル」の音楽 数多くの演劇・舞踊・映画の音楽を担当してきた私にとって、歌舞伎音楽との出会いは全く初めての経験でした。いわゆる下座音楽については、一応の知識はもっていたものの、その作曲は想像をはるかにこえる困難なものでした。しかし幸なことに、四回もの仮録音をすることにより、猿之助さんとの共通の言葉もみつき、私の新作歌舞伎への夢は大きくふくらんでいきました。

古代の響を基調として、私のかたきくちでこの芝居の音楽を書こうと――。

独奏から大合奏にいたるまでの、邦楽器のもつ可能性を十分生かされよう大編成のアンサンブルを組んでみました。それぞれの楽器が、その所を得て「ヤマトタケル」の音楽に、新しい光をあてることが出来ればと念願しております。

(長澤勝俊)

今回演奏する「ヤマトタケル組曲」は、劇場用に作曲された音楽から楽器編成を一部変更し、各場面の音楽を再構成して組曲とした作品です。

NHK東京児童合唱団 出演者

相場 萌	花 栗	本 夏	緒 緒	栖 川	虎 之	介 也	西 尾	愛 梨	亞 凛	水 江	萌 々	子 子	ごん役
青 山	山 花	泉 小	織 梨	菅 原	京 ア	サ ナ	西 野	山 佳	凛 子	眞 坂	美 笑	璃 子	山 崎
吾 妻	真 佳	古 東	人 和	鈴 鈴	有 は	渚 人	長 谷	く 川	ら 華	宮 八	村 優	子 奈	(益田 すみれ)
石 原	田 杏	後 藤	依 依	鈴 鈴	里 幹	子 子	原 田	あ かな	み 子	矢 吹	万 舞	音 乃	兵十役
植 氏	家 沙	後 藤	香 木	関 日	南 夢	生 友	原 半	み 依	子 音	山 崎	崎 由	奈 乃	富 岡 健 太
氏 大	曾 根	後 齊	乃 菊	高 高	未 美	友 咲	日 丸	な な	愛 希	山 本	真 由	侑 幹	(末吉 舞子)
大 岡	山 詩	佐 井	心 野	寺 富	美 健	太 薫	日 伏	原 有	希 優	山 本	真 由	幹 子	加助役
岡 庭	田 花	佐 井	野 香	富 友	田 健	太 薫	日 伏	原 有	希 優	山 本	真 由	幹 子	原 田 あかり
小 改	野 日	白 城	佳 美	中 成	尾 富	美 希	藤 前	坂 百	美 香	山 本	真 由	幹 子	(後藤 優香)
金 澤	尚 子	末 吉	舞 子	成 子	富 子	真 子	益 田	す み	れ	山 本	真 由	幹 子	

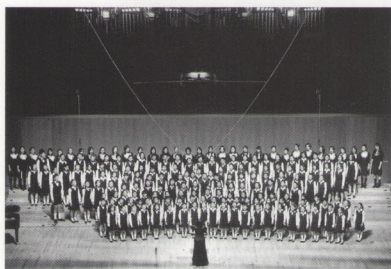
【合唱指導】

金 田 典 子



飛山真利子(語り)

東京都出身。女優、朗読家。大阪府立東住吉高等学校芸能文化科、日本大学芸術学部演劇学科演技コース卒業。幼少より話すこと・演じることに興味を持ち、8歳で朗読、14歳で役者としての初舞台を踏みました。主な出演作は、朗読では「四季のコンサート2002吉備国風土記」、「日本音楽集団茨木公演<音絵巻 茨木童子>」など。舞台では「地球に残した星〜銀河鉄道の夜より(原作:宮沢賢治)の主役ジョパンニ」、「アイスクリームマン」(演出:伊藤勝・青年座)ヒロイン早苗、「地図マニア-nowhere land」(原作:阿部公房)韓国公演参加の他、多数。現在は東京を拠点として、舞台を中心に活動。また、朗読や司会、ナレーション等も積極的に行っています。



NHK東京児童合唱団

1952年3月「少年少女に豊かな心を」という願いから、NHKの教育番組と子ども番組の充実を目的として創立されたNHK東京児童合唱団は、2012年度に創立60周年を迎えました。当合唱団は、NHKの放送出演はもとより、海外の合唱団との交流や国内の主要なオーケストラとの共演を重ね、1972年の創立20周年記念演奏会以来、毎年定期演奏会を開催、邦人作曲家への合唱作品の委嘱など、多くの作品を国内外に紹介しています。

「コダーイ・ゾルタン生誕100周年記念国際合唱コンクール」青少年部門第1位・総合部門グランプリなど、国内外の多数のコンクールに入賞。2009年N響とともに「天皇・皇后両陛下ご成婚50周年記念コンサート」に出演しました。そして、N響とは、2010年、2011年、2012年と3年連続して共演。また、2012年に来日公演したウィーン国立歌劇場のオペラで共演するなど、オペラ合唱演奏にも数多く出演しています。

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 個人会員10,000円(一口以上) 法人会員30,000円(一口以上)

【賛助会員】(口数・五十音順)
[法人]
有限会社 文
有限会社 邦楽ジャーナル
日凸運送株式会社

[個人]
水野正徳
皆川正一
山本昌男
*

青山光枝
朝吹英世
安倍 潔
池田紫真榮
伊藤 憲夫
伊藤 美好

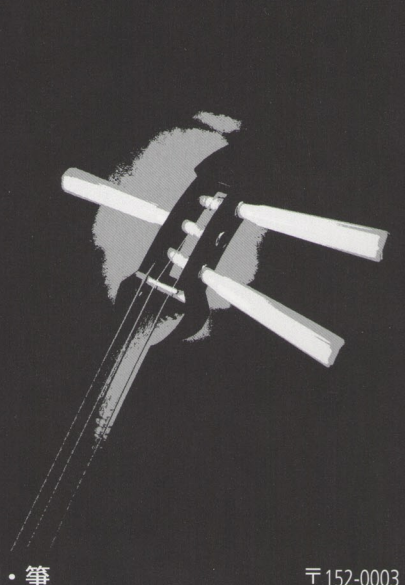
江西 緑
小野永恵
柿崎やよい
風見万里子
小池 節子
佐藤 裕美

佐藤 玲子
杉山英樹
添川浩史
辻 淑子
東谷 仁
富山 優子

友杉 毅
西野千恵子
藤川雅之
元永明希
元永美代子
森 繁美

油谷美穂子
渡辺治子

(2013年10月現在)



三味線・箏

株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 2-19-15
TEL 03(3792)8481 FAX 03(3792)8437
URL: <http://kinko-do.com/>
E-mail: tokyo@kinko-do.com

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
ホームページ <http://www.promusica.or.jp> E-Mail office@promusica.or.jp